



# 柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

## 令和 5 年度 柿崎区における懸案事項の取り組み

### □ 4 保育園を統合し新築

今年度は現・地域協議会委員長任期 4 年の最終年度になります。

昨年度は懸案事項であった「柿崎区内における保育園のあり方」について、皆さんからご意見をいただき議論を重ねた結果、「区内 4 保育園を統合し新しい保育園を建設する」「保育園児が受けるサービス向上を図る」ことで全委員の意見が一致しました。3 月に中川市長へこの内容で意見書を提出しました。

市長から 3 月 31 日付で回答が寄せられました。内容は、「上越市保育園の適正配置等に係る計画（第 4 期）」に搭載することです。

### □（仮称）かきざき空き家

#### 利活用推進協議会を設立

3 年間にわたり検討を続けてきた「空き家活かそうプロジェクト」の結論として、民間主体で空き家対策を進めていくこととしました。空き家対応に関係する団体が主体となり（仮称）空き家利活用推進協議会」を設立し、行政・民間一

体となり情報を共有して空き家利活用を進める、という方向です。柿崎区の方々や柿崎に興味を持った方々が気軽に立ち寄れる場所も設けたいと思っています。皆さんから空き家の情報提供をお願いします。

### □ 地域独自の予算事業がスタート

地域活動支援事業が終了しました。今年度からは「地域独自の予算事業」として活動がスタートします。柿崎区は「黒川黒岩ふれあい事業」「柿崎時代夏まつり」「下黒川地区夏まつり」事業」「かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業」



米山の魅力を生かして地域活性化を進めます

「第 6 回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展」の 4 事業が行われます。

### □ 地域活性化の方向性

米山のブランド力を高め活性化今年度、各地域協議会では、「地域活性化の方向性の作成」を求められています。柿崎区地域の米山と日本海にいだかれた魅力のまちという強み（個性・特性）をいかして、三大薬師「米山」のブランド力を高め、地域を活性化します」と決めました。

さて、この方向性から柿崎区内において地域の活性化を図るべく行動を起こしていく必要があります。地域協議会でもいくつかの活動案を検討しましたが、柿崎区の皆さんからも活動案を出していただき次年度以降の活動につなげていきたいと思っています。皆さんからのアイデアを広く募集します。地域協議会委員や柿崎区総合事務所にお声かけをお願いします。

（柿崎区地域協議会）

会長 吉井一寛

# 区内保育園の今後のあり方に関する意見書を上越市へ提出

3月15日、みんなの保育園を考える会は、区内4保育園の将来的なあり方について意見書を上越市へ提出しました。

## 【意見書の内容】（一部抜粋）

区内4保育園とも建設から37年以上が経過し施設の老朽化が進み、園児数も年々減少し定員割れをしている。さらに、核家族化や共働きによる家庭環境の変化、勤務体系の複雑化等により保育のニーズも多様化してきている。

昨年6月に区内保育園や、なおえつ保育園を視察した。さらに、11月には保護者会役員との懇談会や保護者会役員に「保育園のあり方に関するアンケート調査」を実施し、保育園を利用している保護者の考え、意見の聴取に努めた。アンケート調査は、6割近くの役員が「区内4保育園を統合し新築」と回答され、意見交換においても施設の老朽化や園児数の減少、サービスの現状等を踏まえ、区内の4保育園の統合にご理解をいただいたものと考ええる。

### 1 区内の今後の保育園のあり方

- ・4保育園を統合し、新たに保育園

を建設すること。

- ・保育園の新築場所については、保護者の通勤等を考慮すること。
- ・通園バスの運行時間や便数の増便など、園児の送迎に配慮すること。

### 2 サービスの充実

- ・アンケート調査で希望が多かった「保育時間の拡大」「病児・病後児保育の実施」「通園バスの利便性向上」「保育士の配置の充実」等を早期に実現すること。

## 【意見書に対する上越市からの回答】

### （一部抜粋）

市では、「上越市保育園の適正配置等に係る計画(第4期)」の策定に向け、令和4年度に保育園の現状と課題をまとめ、これを踏まえ、適正配置の基本方針を「安心して子育てができ、持続可能な保育環境を整える」と定めている。令和5年度は、この方針を踏まえて、適正配置の対象とする園やその方法を検討し、関係者との協議を経て適正配置計画を策定することとしており、柿崎区内の保育園の適正配置に関しては、意見書の内容を踏まえて、関係する保護者や地域の皆様との協議を整え、第



大切なことは、子どもたちの保育環境の整備と受けられる保育サービスの充実です

4期計画へ登載する。なお、保育時間の拡大等の保育サービスの充実に関しては、保育園の適正配置と合わせて検討する。

みんなの保育園を考える会では、意見書の提出で役目を終えることなく、引き続き上越市と話し合いを進めながら、保育園の運営をどのように行うのか、建設場所はどこにするべきかなど、保護者や地域の皆さんとともに活動を続けていきます。

（みんなの保育園を考える会

委員長 小山 慶）

## 空き家利活用業務を担う団体を設立 ～地域独自の予算事業を活用～



染織資材卸売業社の空き倉庫を活用したワーキングスペース（十日町市）

地域協議会だより第48号では、地域活性化の拠点となって活動している糸魚川市の「一般社団法人 空き家活用ネットワーク糸魚川」と十日町市の「十日町市移住コンシェルジュ」を視察した結果を報告しました。空き家の利活用と移住対策と違いはあるものの、それぞれ地域の活性化のためにさまざまな事業を展開していて、私たち柿崎空き家活かそうプロジェクトが目指している理想的な活動を行っていると感じました。空き家利活用を推進するための具体的な活動イメージを模索していた時期だったこともあり、それぞれの取

組に大変刺激を受け参考になりました。

柿崎空き家活かそうプロジェクトでは、昨年度空き家情報把握と発信に関して検討を重ね、令和5年の年明けからは空き家利活用の中心となる拠点の整備に関して視察結果を踏まえた検討を行ってきました。そして今年度に入り、プロジェクトのまとめの作業を進めています。まとめの方針としては、空き家利活用を推進するために、業務の受け皿となる団体（組織）を設立し、行政と連携して財源確保のため地域独自の予算事業の活用を目指します。

「人口減少や少子高齢化の現状を踏まえ、空き家の利活用を推進することにより地域の活性化を図る」という大きな課題に対して、まさに手探りの状態でここまでさまざまな検討や次のような取組を行ってきましたが、ようやく空き家利活用を推進する団体の設立までたどり着くことができました。この原稿を書いている段階では、まだ確定していませんが、多くの、具体的なことは報告できませんが、次号で空き家利活用の業務を行う団体の詳細や業務の内容等を報告できるように進めていきたいと思っています。

### 【これまでのプロジェクトの主な取組】

- 令和2年11月
    - ・ 建築住宅課担当者を招いての空き家対策勉強会
  - 令和3年3月
    - ・ 地域おこし協力隊及び新規就農者との意見交換会
  - 令和3年9月
    - ・ 空き家を利活用して地域交流の場となっている施設の視察
    - ▽ 妙高市…古民家カフェ矢代
    - ▽ 牧区…山のホームサ
  - 令和4年5月
    - ・ 町内会長に空き家アンケート実施
  - 令和4年8月
    - ・ 建築住宅課担当者との意見交換会
    - ・ 空き家支援制度チラシを全町内会に回覧し、空き家所有者に送付
    - ・ 空き家を住まいとした移住者からの聴き取り調査の開始
  - 令和4年11月
    - ・ 地域活性化を担う拠点の視察
    - ▽ 一般社団法人 空き家活用ネットワーク糸魚川
    - ▽ 十日町市移住コンシェルジュ
- （柿崎空き家活かそうプロジェクト委員会  
委員長 蓑輪和彦）

## 米山を宝に！「地域活性化の方向性」を決定

「地域活性化の方向性」について、昨年 8 月から 6 回の議論を重ね、3 月 14 日に次のとおり決定しました。

### ○柿崎区の地域活性化に向けて

・柿崎区の米山と日本海にいだかれた魅力のまちという強み（個性・特性）をいかして、三大薬師「米山」のブランド力を高め、地域を活性化します。

### ○構成要素

**1 発信** 米山・田んぼ・山からの景観、史跡などの魅力を「フォトコンテスト」等、SNSを活用して広く発信します。

**2 交流・イベント** 米山の豊かな自然を生かして、キャンプ、グランピング、サウナなど若者と交流できるイベントを企画します。伝統を大切に、「米山・柿崎」を掲げ、各地区のイベント、祭りなどの連携を推進します。

**3 産業** 米山の豊かな水を生かした、山里・海の地産品ブランド力を高め魅力をアピールします。

**4 暮らし** 米山と海に囲まれた自然の中で、子育て環境の充実、空き家の活用などを図ることで移住・定住を促進します。

**5 文化** 米山を核に史跡や伝統文化を発掘・継承し、広く発信するとともに郷土愛を育てます。

**6 「米山・柿崎」ブランド化** 地域の活性化に取り組む旗印として「米山・柿崎」を掲げ、クラウドファンディング、企業の参加等を促進し、柿崎区の自治力を高めます。米山・柿崎の親しみやすいロゴを作り、イベント・地産品に活用します。今後は地域独自の予算事業へつなげるため、新たに「明日へつなぐ事業検討委員会」を設け、関係各所との調整を進めます。地域独自の予算事業は、2人以上の団体であれば取組を提案できます。詳細は事務局へ。（明日へつなぐ事業検討委員会）

委員長 小出 祥世

### 柿崎区の主なうごき(令和 5 年 4 月～6 月)

開催月日	実施項目
4月18日	第1回地域協議会
4月25日	第28回空き家活かそうプロジェクト会議
5月15日	第1回明日へつなぐ事業検討委員会
5月23日	第2回地域協議会
5月23日	第29回空き家活かそうプロジェクト会議
5月30日	(仮称)かきざき空き家利活用推進協議会設立準備説明会
6月16日	空き家利活用推進協議会設立準備委員会
6月19日	第3回地域協議会
6月19日	第2回明日へつなぐ事業検討委員会

### 【編集後記】

新型コロナウイルスの扱いが季節性インフルエンザなどと同じ「5類相当」となりました。ですが、まだまだ油断はできません。注意しましょう。

柿崎区地域協議会では、「明日へつなぐ事業検討委員会」を設置し、柿崎区の地域活性化に向けて、地域独自の予算事業の協議を始めました。大きな課題ですが、地域の皆さんのお力、知恵をいただき形のあるものになるよう取り組んでいきたいと思えます。（白井 一夫）

編集委員長 中村 誠

編集委員 白井一夫 武田正教

蓑輪和彦 吉井一寛

吉村 正

### 地域協議会を傍聴しませんか？

開催日程は、防災行政無線でお知らせします。詳細は柿崎区総務・地域振興グループへお問い合わせください。

TEL 025-536-2211